

授業科目名 <英訳>	医療倫理学各論 Practicum for Clinical Genetics				担当者所属・ 職名・氏名	医学研究科 教授 小杉 眞司					
配当 学年	専門職	単位数	2	開講年度・ 開講期	2017・ 後期集中	曜時限	金5・6:開講日注意	授業 形態	講義	使用 言語	日本語

### [授業の概要・目的]

#### 【基本情報】

授業日時：金曜5/6限（原則隔週）

教室：G棟3階演習室

レベル：応用

担当者：小杉眞司・和田敬仁・竹之内沙弥香・山崎康仕（神戸大学）・浅井篤（東北大学）

#### 【コースの概要】

医療技術の進展にともなって生じる臨床上的問題、臨床研究実施上の問題の検討を行う。「自ら問題を考え、解決の方策を探り、臨床で実践する能力」を身につけ、実践行動型の医療者となることを目標とする

### [到達目標]

#### 1)医療倫理学の基礎を理解する

- ・医療倫理学の背景、医師患者関係の変容、患者の権利や医師の義務を理解する

#### 2)倫理的問題の対処方法を習得する

- ・問題の存在を認識し、考える枠組みを使って実際の問題を検討する
- ・議論を通じて解決の道筋をたてる
- ・臨床での実践方法を考える

### [授業計画と内容]

【第1/2回】10/6<小杉>「倫理委員会・移植医療と倫理」倫理審査委員会の歴史、現状、法的根拠、組織。生体肝移植を中心とする倫理について実例に基づいて考える

【第3/4回】10/20<竹之内>「終末期医療」治療の中止、延命治療、安楽死、尊厳死、高齢者医療、DNRオーダー、事前指示、医学的無益性などについて考える

【第5/6回】11/18<和田>「小児科医療と倫理」小児医療における代諾、重症障害新生児の治療、治療拒否と虐待などの問題点について考える

【第7/8回】12/1<山崎>「法と倫理」道徳・倫理・法の関係、自然法論と法実証主義などについて総合的に考える

【第9/10回】12/15<>「産婦人科医療と倫理」産婦人科では、胚や胎児を対象とするために生じる倫理問題が存在する。これらの幅広い倫理的課題について考える

【第11/12回】1/5(未定)

【第13/14回】1/19<浅井>「医療資源配分の問題」

【第15/16回】2/9<小杉>「自主研究発表」履修院生による自己テーマについての研究発表

## 医療倫理学各論(2)

### [履修要件]

遺伝カウンセラーコース1回生必修科目  
SPH選択科目  
先修科目として「基礎医療倫理学」の履修を原則とする  
人間健康科学系専攻学生の受講可否：要事前連絡

### [成績評価の方法・観点及び達成度]

研究発表、議論への参加の積極性、レポート、出席等を総合的に判定します。  
自主研究発表(最後に実施)：医療倫理に関するどのようなテーマでも良いので、自ら問題点を探し、それについて調べたり、検討した結果を発表し、全体でディスカッションします。割り当て時間(発表+ディスカッション)は、発表者の数に依存しますが、15-20分程度です。(原則としてパワーポイントを用いて発表し、ハンドアウト配布もお願いします)。他の専攻や研究科からの受講の場合も必須です。

### [教科書]

配布するハンドアウトなど

### [参考書等]

(参考書)

### [授業外学習(予習・復習)等]

### (その他(オフィスアワー等))

その他メッセージ  
事例検討は、ビデオ、漫画を用いることがあります  
講義日程、講師、内容については、多少の変更がある可能性があります  
かならず、正式な受講届を提出すること。

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。